

魔法の宿題 プロジェクト 活動報告書

報告者氏名： 齋藤 圭一朗 所属： 千葉市立養護学校 記録日： 28 年 2月 10日
キーワード： 「自閉症」 「社会参加」 「コミュニケーションスキル」 「ルールの理解」

【対象児の情報】

・学年

高等部3年 男子生徒

・障害名

広汎性発達障害

・障害と困難の内容

仲間とのコミュニケーションでトラブルになることが多い。自分の伝えたいことがうまく伝えることができずに、大きい声を出してしまったり、相手との距離が近くなったりトラブルにつながるが多い。

1年生の時は公共交通機関を使用して登校していたが、問題行動が多く2年生になる直前にスクールバスでの通学方法に変わった。問題行動は、バスの中での生徒同士のトラブルや、機器に強い興味があり通学途中に操作中のATMを覗いてしまう行動があり、公共交通機関を使っでの登校は難しくなってしまった。

【活動目的】

・当初のねらい

「仲間と話す、聞くときのきまりを理解し、適切なコミュニケーションをすることができる」

「ルールを守り、公共交通機関を使うことができる」

・実施期間

朝の課題の時間（20分程度） 下校前の時間（10分程度）

2015年6月～2016年1月

・実施者

齋藤圭一朗（高等部3年担任）

・実施者と対象児の関係

学級担任と生徒

【活動内容と対象児の変化】

・対象児の事前の状況

○自分の嫌いな歌や声があると、大きな声で拒否をしたり相手の口を塞ごうとしたりすることがある。

○機器類に強い興味があり、身近にあるパソコンやタブレットを触ってしまう。

・活動の具体的内容

【相手と正しいコミュニケーションをとる】

1、嫌な歌や声があるときに正しい拒否・回避を客観的に見る。

《使用アプリ：keynote、iMovie》



・動画教材では、適切に会話ができている動画を使用した。当初は、適切、不適切な会話を比較して学習を進めてきたが、失敗したり出来ていないことに対して、強い拒否があったので、適切な場面のみで行った。

2、具体的にどのような場面で、どのような振り舞いをするのかを学習する。《使用アプリ：keynote》

3、1ヶ月単位で目標を立て、1日の最後に振り返る。《使用アプリ：Numbers》



【衝動的に機器類を触ってしまうことのルール決め】

1、機器を操作したいときに、どのような手続きをすれば良いのかを学習する。

《使用アプリ：keynote》



2、パソコンを使用する際は、使用する上での注意点をマニュアル化し、確認できるようにする。

《使用アプリ：マニュアル作成プロ》



3、1ヶ月単位で目標を立て、1日の最後に振り返る。

《使用アプリ：Numbers》



・対象児の事後の変化

【相手と正しいコミュニケーションをとる】

はじめは、会話に介入しながら、どのような伝え方をすれば相手に伝えられるか、嫌な歌や声の時はどうすれば、自分が落ち着いていられるのかを実際に行った。ここで、「声の大きさを〇〇にすれば相手が聞いてくれる」「嫌な時は3分休憩すれば落ち着いていられる」と実感できるようにした。

その後 keynote で作成した動画教材で、正しく相手に伝える方法や嫌な状況の時の回避の方法を学習することで、苦手な声を聞くと、相手の肩を叩き、正面に行き声のボリュームに気をつけながら、相手に伝えられるようになってきた。(写真2) またどうしても我慢できない時は、「3分休憩ください!」と担任に伝えて、タイマーを持ってその場から回避することもできるようになった。以前は、耳を塞ぎ活動が止まってしまうたり、(写真1) 相手の口を塞ぎに行ってしまうたりする行動があったが、適切な行動を学習し体験することで、理解できてきたと感じている。

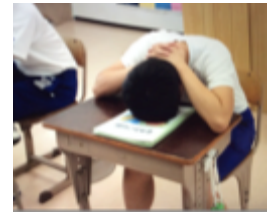


写真1

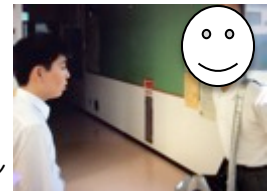


写真2

【衝動的に機器類を触ってしまうことのルール決め】

事前に生活をする中で、本人が気になる機器類を置かないようにした。その中で、振り返りシートを使い毎日の反省を行った。機器類がない状況だったため、チェックシートには「ルールを守れた」と記入ができ、「触って注意をされなかった!」ということが本人の中で大きかった。

次にパソコンやタブレットを使用したい時にはどのようにすれば良いのかを学習した。(写真3) 次に、生活の中に機器類を入れていき、その中で触りたい時は担任に使用したい意思を伝えられるようにした。最初は、触ってしまうことが多くあり、チェックシートにも「触ってしまった」と記入することが多くあったので、その都度、振り返りシートの項目に沿って確認をした。今まで(1、2年生の時)も何度も注意をされてきたことが、動画で具体的な様子を見ることで、注意を受けていた原因を理解し、そのためにはどのようなことをしなくてはいけないのかを、知るきっかけになった。今では、担任や担当に確認を取ってから、機器類を使用することが多くなった。

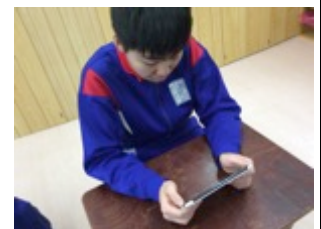


写真3





パソコン使っていいですか？



担任に伝えてから使用する



11月	機械を触るときは、先生に言う	設定を変えたいときは、先生と一緒に変える
5日(木)	言えた	高藤先生に言った

「言えた」「ルールを守れた」ということが、いい行動の強化になった！

【報告者の気づきとエビデンス】

・主観的気づき

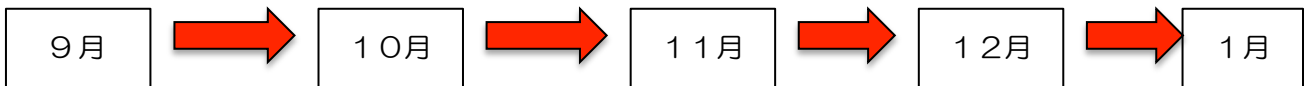
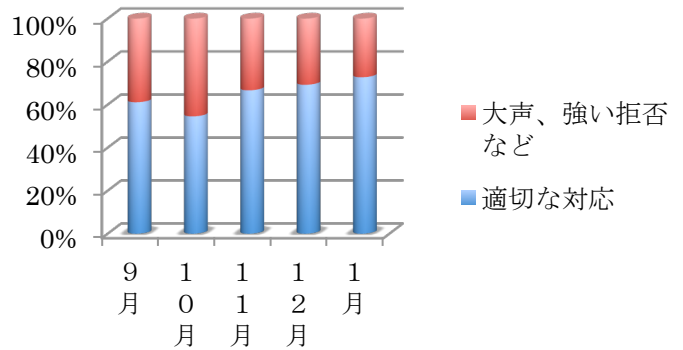
- 今まで、「ダメ！」「いけません！」と言われてきた事が、何がどんな風にいけない事を理解できた。
- 行動を振り返ることで、出来ていることが良い行動の強化になり、出来なかったことが「もうやらないように」という意欲につながった。

・エビデンス（具体的数値など）

【嫌な状況の時の適切なコミュニケーション、回避の9月からの頻度の変化】

大きな変化はないが、確実に適切なコミュニケーション、嫌な状況の回避が出来るようになってきた。自分から回避（3分休憩すること）することについては、自分自身がパニックになりそうな時に「休憩すれば落ち着ける」ということが、理解でき、実際の場面でも行動に移せるようになってきた。

また振り返りシートの内容もとても具体的に書き込めた。「できない」のみだったが、徐々に「〇〇くんに〇〇と大きい声を出してしまった」「〇〇くんに余計なことを言ってしまった」などとできなかったことに対して、場面を思い出しながら振り返ることができてきた。良い行動と、そうでない行動を理解して、自分の行動はどうだったのかを考えることができています。



9月	大きい声を出さない	耳栓を使う	相手の口もみさない
1日(水)	出来た	使わなかった	出来た
2日(木)	出来た	使わなかった	出来た
3日(金)	出来た	使わなかった	口を覆いかけた
4日(土)	出来た	使わなかった	出来た
5日(日)	出来た	使わなかった	出来た
6日(月)	出来た	使わなかった	出来た
7日(火)	出来た	使わなかった	出来た
8日(水)	〇〇くんに大きい声を出した	使わなかった	出来た
9日(木)	出来た	使わなかった	出来た
10日(金)	使がイヤにして大きい声を出した	使わなかった	出来た
11日(土)	出来た	使わなかった	出来た
12日(日)	出来た	使わなかった	出来た
13日(月)	出来た	使わなかった	口を覆いかけた
14日(火)	出来た	使わなかった	出来た
15日(水)	出来た	使わなかった	出来た
16日(木)	出来た	使わなかった	出来た
17日(金)	出来た	使わなかった	出来た
18日(土)	使がイヤにして大きい声を出した	使わなかった	出来た

10月	大きい声を出さない	耳栓を使う	相手の口もみさない
16日(金)	出来た	使わなかった	出来た
19日(月)	大きい声を出してしまった	使わなかった	出来た
20日(火)	出来た	使わなかった	出来た
21日(水)	出来た	使わなかった	出来た
22日(木)	「わお」を出してしまった	使わなかった	出来た
23日(金)	出来た	使わなかった	出来た
26日(月)	出来た	使わなかった	出来た
27日(火)	大きい声を出してしまった	使わなかった	出来た
28日(水)	大きい声を出してしまった	使わなかった	出来た
29日(木)	出来た	使わなかった	出来た
30日(金)	大きい声を出してしまった	使わなかった	出来た

11月	嫌なときは3分休憩	友達に伝えるときは、首をトントン
5日(木)	〇〇くんに大きい声を出した	トントンしなかった
10日(火)	〇〇くんに大きい声を出した	トントンしなかった
11日(水)	出来た	トントンしなかった
12日(木)	出来た	トントンしなかった
13日(金)	着替え中、僕は大きい声を出した	トントンしなかった
16日(月)	大きい声を出した	自分が足をドンソクした

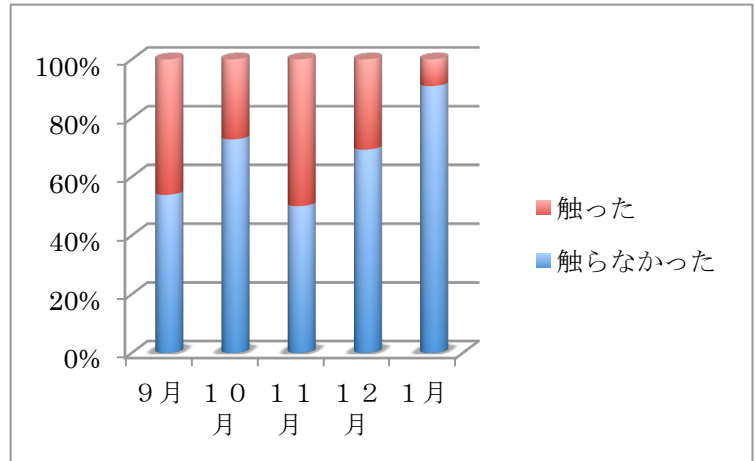
12月	嫌なときは3分休憩	友達に伝えるときは、首をトントン
3日(木)	新出社行後、〇〇くんに大きい声を出した	トントンしなかった
7日(月)	出来た	耳を覆いだ
8日(火)	出来た	耳を覆いだ
9日(水)	〇〇くんに余計な言葉を喋った	トントンしなかった
10日(木)	出来た	トントンして、お話をした
11日(金)	出来た	トントンして、お話をした
14日(月)	自分が選挙管理委員会の証がないを大きい声で喋った	トントンしなかった
15日(火)	出来た	トントンしなかった
16日(水)	出来た	トントンしなかった
17日(木)	出来た	トントンしなかった
18日(金)	出来た	〇〇くんにトントンした
21日(月)	〇〇くんがトントンしなかったので電源コードを引っ張った	トントンしなかった
22日(火)	出来た	〇〇くんにトントンした

1月	嫌なときは3分休憩	友達に伝えるときは、首をトントン
7日(木)	出来た	出来た
8日(金)	出来た	耳を覆いだ
12日(火)	出来た	トントンしなかった
13日(水)	大丈夫だった	トントンしなかった
14日(木)	休づくりの時、イライラした	トントンして、お話をした
15日(金)	自分が選挙管理委員会の証がないを大きい声で喋った	トントンしなかった
18日(月)	自分がイヤにして喋った	トントンしなかった
19日(火)	肩がうるまかったので休憩した	トントンしなかった
20日(水)	大丈夫だった	トントンしなかった
21日(木)	大丈夫だった	〇〇くんにトントンした
22日(金)	〇〇くんがトントンしなかった	トントンしなかった
25日(月)	肩がうるまかったから休憩した	〇〇くんにトントンした

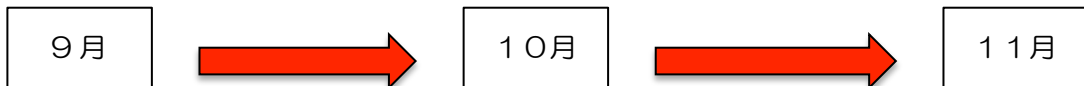
【衝動的に機器類を触ってしまうことのルール決め】

11月までは、機器類を触ってしまい注意を受けることがあったが、12月からは、触らない、もしくは担任に伝えてから操作することができるようになってきた。

ルールを守ることについては、機械類に強い興味を持っている実態があったので、事前に機械類が近くにないようにした。(5月～7月夏休み前)事前に本人が機器類を触らない状況を作り、触らなかったということをチェックシートで記入することができた。「ルールを守ることができた」「注意をされなかった」という気持ち



ちが約束を守ることへの強化につながった。夏休み明けからは、触りたい時の手続きの仕方を学習し、実生活の中で実践をした。担任や担当の教員に、パソコンを使用したいことを伝えることで、使用できるという経験を積んでいきルールを理解できるようになってきた。11月に勝手に触ってしまった割合が高いのは、学校行事が重なり日課の変更が多々あったことが考えられる。特定の場所での指導になっていたため、ほか場面で般化されていないことがわかったので、教室と図書室(パソコンが使用できる)以外での手続きの仕方を学習に入れていった。12月、1月には減少傾向にある。



日	インストールをしないこと、サイトをダウンロードしない	人の物を触らない	他のアプリを実行しない
1日(日)	出来た	出来た	出来た
2日(日)	出来た	TVの電源を触った	出来た
3日(日)	出来た	出来た	出来た
4日(日)	出来た	出来た	出来た
7日(月)	出来た	出来た	出来た
8日(月)	出来た	出来た	出来た
9日(月)	出来た	勝手にいじった	出来た
10日(月)	出来た	携帯の電源の押し、横ツールがどうなるか確認した	出来た
11日(月)	出来た	出来た	出来た
14日(月)	出来た	出来た	出来た
15日(月)	出来た	出来た	出来た
16日(月)	出来た	出来た	出来た
17日(月)	出来た	出来た	出来た
18日(月)	出来た	出来た	出来た

日	インストールをしないこと	サイトをダウンロードしない	人の物を触らない	他のアプリを実行しない
16日(金)	使わなかった	使わなかった	出来た	使わなかった
19日(月)	使わなかった	使わなかった	出来た	使わなかった
20日(月)	使わなかった	使わなかった	出来た	使わなかった
21日(火)	使わなかった	使わなかった	出来た	使わなかった
22日(火)	使わなかった	使わなかった	電源コードを抜いたり、入れたりをした	使わなかった
23日(水)	使わなかった	使わなかった	出来た	出来た
26日(月)	使わなかった	使わなかった	出来た	使わなかった
27日(火)	使わなかった	使わなかった	リモコンの決定ボタンを押してしまった	使わなかった
28日(水)	使わなかった	使わなかった	出来た	使わなかった
29日(木)	使わなかった	図書室のパソコンをアップグレードした	出来た	使わなかった
30日(金)	使わなかった	使わなかった	出来た	使わなかった

日	機械を触るときは、先生に言う	設定を変えたいときは、先生と一緒に変える
5日(木)	言えた	斎藤先生に言った
10日(火)	言えなかった	言えなかった
11日(水)	言えなかった	先生に設定を変えていった
12日(木)	言えなかった	言えなかった
13日(金)	言わずにリモコンの電源ボタンを押した	言えなかった
16日(月)	ナビを触るときに先生に言わなかった	大きい声を出した



日	機械を触るときは、先生に言う	設定を変えたいときは、先生と一緒に変える
3日(木)	コンピュータにインストールCDを入れてしまった	言えた
7日(月)	言わなかった	言えた
8日(火)	言わなかった	言えた
9日(水)	言わなかった	言えた
10日(木)	機械を触りませんでした	言えた
11日(金)	機械を触りませんでした	言えた
14日(月)	機械を触りませんでした	言えた
15日(火)	機械を触りませんでした	言えた
16日(水)	機械を触りませんでした	自分の注意を守れなかったので覚えてしまいました。
17日(木)	機械を触りませんでした	言えた
18日(金)	iPadの電源ボタンを押してしまいました	言えた
21日(月)	機械を触りませんでした	言えた
22日(火)	Apple tvのリモコンを触れてしまいました	言えた

日	機械を触るときは、先生に言う	設定を変えたいときは、先生と一緒に変える
6日(水)	触りませんでした	言えた
7日(木)	触りませんでした	言えた
8日(金)	触りませんでした	言えた
12日(火)	触りませんでした	言えた
10日(木)	触りませんでした	勝手に変更してしまっ
11日(金)	触りませんでした	言えた
14日(月)	斎藤先生のタブレットを勝手に操作した	言えた
15日(火)	触りませんでした	言えた
16日(水)	触りませんでした	言えた
17日(木)	触りませんでした	言えた
18日(金)	触りませんでした	言えた
21日(月)	触りませんでした	言えた
22日(火)	触りませんでした	言えた

・その他エピソード（画像などを含めて）

本生徒は、ルールを守れないことについて困っている。ルールを守れない→注意を受ける→理由がわからなくパニックになる。の繰り返しで今まで過ごしてきた。生徒自身はルールを守らなくてはいけない、気持ちを相手に伝えたいという気持ちが強くある。今年1年間で、「何がいけないのか」「どんな風にすれば良いのか」「適切な方法」を学習してきた。そのことを卒業後の生活にも生かせたらと感じている

コミュニケーションについては、現場実習の中でも問題が起こっている。施設の利用者の声に「うるさいから静かにして！」と注意をしてしまいトラブルになりかけたことがある。この先同じような場面が、たくさん訪れると思う。この1年の取り組みを継続していき、自分自身が困っていることを克服できるように、毎日の振り返りシートに取り組むようにする。

4月から新しい環境での生活になるので、自宅から作業所までの道のりを再度確認し、注意点を振り返ることができるようにしていく。またコミュニケーション面、作業所内の生活の仕方や、考えられる問題を洗い出して教材として活用できるようにしていく。そのために保護者と共通理解を計りながら、学校と家庭とで、支援をしていければと考えている。